

2023_0712「産座からはじかれた雛・その2（動画）」日々の理科 3262号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

産座からはじかれた雛は、巣立ちまでの日数が遠いと、親から餌がもらえず、夜間の気温低下にも耐えられないので、息絶えることが多いです。しかし今回の「はじかれ雛」は大丈夫でした。

むしろ広いところに出られたので、はばたく練習をしたり、あちこちつついて餌をとる練習をしたりと、巣立ちに向けての準備もしていました。更に自力で産座に戻ることもできて、一安心でした。

巣立ちの予想日は7月19日なのですが、今回は雛たちの成長も良く、その後も何羽かの雛が産座を出ては戻っていたので、意外と早く巣立ちに至りそうです。このあとも様子を観察したいと思っています。

(2023年7月中旬／北軽井沢の巣箱)

